

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 可児高等学校 学校運営協議会 (第2回)
- 2 開催日時 令和5年11月6日(月) 14:00~16:00
- 3 開催場所 可児高等学校 会議室
- 4 参加者

会長	金子 嘉明	(可児高校PTA会長)
副会長	今井 竜生	(可児市立蘇南中学校長)
委員	松井 慶子	(元可児高校PTA役員)
	市原 崇光	(可児市商工会議所副会頭)
	安藤 麻記子	(可児市役所産業振興課主任)
	菰田 さよ	(可児市国際交流協会)
	杉浦 浩子	(岐阜医療科学大学看護学部学科長) (欠席)
	吉田 憲博	(坂戸地区自治会長) (欠席)
	吉田 孝尚	(坂戸地区副自治会長)
職員	川地 晃正	校長
	二村 文敏	教頭
	虫賀 則行	事務長
	内藤 崇	教務主任
	川島 隆史	生徒指導主事 (欠席)
	山下由香理	進路指導主事
	本間 豊	研修主事
	加藤 紫帆	(記録係)
	亀村 真由	(記録係)

5 会議の概要(協議事項)

(1) 学校の様子について(校長より説明)

今年度の取組の柱は「授業改善」である。4月から授業を見回っているが、教員の授業の変化を感じる。指導主事からの評価として、県内十数校の中でも可児高校の授業は素晴らしいとの評価をいただいた。特別活動(体育祭、文化祭、球技大会)においても、クラスの団結や普段感じられない生徒の姿が見られたことが大変良かった。その他、可児高校の様子が様々な新聞に掲載されており、学校改革の推進について取り上げていただいた。こうしたことが、地域や中学校に伝わることで、成果につながっていくのではないかと思う。

(2) 協議

① 授業について(授業参観の感想等)

意見1:一方的でない授業がよい。生徒が前を見て、学びたいという意欲があることを感じた。教員の声の大きさや活動など様々な工夫もあり、エネルギーも感じた。

- 意見 2 : グループでの協議の際に、教員が積極的に机間指導を行い、生徒の声を拾い上げて授業に生かしてもらえるとよいのでは。
⇒ともすると生徒の良さに甘えて授業改善を忘れてしまうこともある。今年は授業改善を改革の柱として教員が共に学び合いながら授業改善に励んでいる。
- 意見 3 : グループでの学習で、その成果をタブレットに打ち込んで共有していくなどの活動を授業に取り入れるとよい。これは中学校でも行われているので、高校でもさらに ICT を活用する力を育ててほしい。
- 意見 4 : 授業を受けている生徒の表情がとても良い。また先生の話への反応の良さから、話をよく聞いていることがわかった。
- 意見 5 : 6 限目の授業だったが、寝ている生徒もおらず集中して授業を受けていた。また生徒の姿から授業を受けることや学校に行くのが楽しいという感じが伝わってきた。

② 学校評価の結果とそれに対する意見、その他（次年度以降の体育祭についてなど）

- 意見 1 : 広報ということではないかもしれないが、中学校では週に 1・2 回、学校の様子をブログ形式でホームページに掲載し、保護者や地域に伝えている。
- 意見 2 : 可児高校の良さを知ってもらうために、ホームページや YouTube 等を活用した広報に力を入れてもらい、いつでも学校の様子が見られるような環境があるとよい。
⇒個人情報（肖像権など）の問題に留意して、できる範囲で工夫してく。
- 意見 3 : 可児市内の中学校や小学校、幼稚園など学校だよりなどが回覧で回ってくる。可児高校の情報を届けたい世代にもよるが、各地区センター、地元放送局ケーブルテレビ、回覧に QR コードを付けてホームページを見ってもらうなどの工夫もできるのではないかと。
⇒先日、全国紙（都会から地方への移住をテーマにした雑誌）の教育分野での掲載の依頼があった。様々な媒体を積極的に活用したい。
- 意見 4 : 外部体育館での体育祭開催は、熱中症のことを回避するための大人側のベスト案ではあるが、実際に行うのは生徒である。生徒の意見も聞く必要がある。また急激な変化には様々な意見が出る。持続可能な形ができればよい。
- 意見 5 : 自転車交通安全については、ヘルメットをかぶっている生徒が少ないように思う。命を守るために努力をしてほしい。実際に危ないことが実感できればよいが。
⇒先日、可児警察署と JA の協力でスタントマンを招いた交通安全教室を行った。自転車による交通事故の再現や説明は、生徒が交通安全について考える良い機会になった。

6 会議のまとめ

第 2 回学校運営協議会は、前回同様に授業での生徒や教員の様子を参観した。また学校評価の結果から、主に『可児高校の広報の在り方』について協議し、有益な助言を得た。また現在学校が考えている『次年度以降の体育祭の方向性』、『自転車の交通安全』についても率直な感想や意見が出され、充実した協議となった。学校改革の推進は簡単ではないが、生徒を主役とした視点を忘れず、生徒、保護者の意見を聞きつつ、新しい時代に対応する学校になってもらいたいとの期待の言葉を得た。

今回の学校運営協議会での意見を踏まえ、今後も着実に学校改革を推進していくとともに、次年度への具体的な取組につながるように課題を整理したい。